

【30】平成30年度 大学院シラバス

<p>専攻分野/コース  (英文名)</p>	<p>外科学(乳腺・内分泌外科)  (Breast and Endocrine Surgery)</p>
<p>研究指導教員</p>	<p>津川 浩一郎</p>
<p>研究・教育の概略</p>	<p>乳癌の治療は、外科手術、化学療法、内分泌療法、放射線療法のすべてが有効なのが特徴である。乳癌の治療経験を通じて、集学的治療及び QOL に対する考え方を修する。 甲状腺、副甲状腺手術及び術前、術後の病態生理を修得する。</p>
<p>研究項目</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 術前化学療法の効果判定のための画像診断</li> <li>2. 乳癌手術の適切な縮小化</li> <li>3. 乳癌全身療法の評価と開発</li> <li>4. 新しい乳癌画像診断の開発</li> <li>5. 乳癌検診の評価と開発</li> </ol>
<p>準備学習(予習・復習)</p>	<p>Up To Date(学内からオンラインにて検索可能)における乳腺・甲状腺・副甲状腺に関する記事を参照のこと。</p>

学籍番号	
氏名	

平成30年度講義シラバス(1)

講義コード	※	専攻分野	外科学(乳腺・内分泌外科)		
講義題目	乳腺内分泌外科クリニカルラーニング		必修/選択	必修	
担当教員	津川浩一郎	担当教員連絡先	内線 3222		
単位数	2単位(3ヶ月・7、8、9月)	履修年次	1年・2年		
テーマと目的	症例に基づいて基本的な乳腺・甲状腺・副甲状腺疾患の診療を理解する				
講義計画	種々の基本的な乳腺・甲状腺・副甲状腺症例を通して診断学を理解し、管理方法を検討する。				
達成目標	1. 基本的な乳腺・甲状腺・副甲状腺の診断について、論理的に説明できる 2. 基本的な乳腺・甲状腺・副甲状腺の診断に基づいた治療計画を策定できる				
教科書・参考書	別途指示				
準備学習(予習・復習・時間)	Up To Date(学内からオンラインにて検索可能)を参照 1時間				
成績評価法	出席と講義内での発表および受講態度による総合評価				
講義内容					
前期(回)	内容	(出席◎)	後期(回)	内容	(出席◎)
1	乳腺・甲状腺の解剖		1		
2	ホルモンと乳腺の関連		2		
3	乳癌の疫学		3		
4	乳腺・甲状腺疾患の視触診		4		
5	乳腺疾患の画像診断		5		
6	甲状腺・副甲状腺疾患の画像診断		6		
7	転移性乳癌の画像診断		7		
8	乳腺疾患の組織診断		8		
9	甲状腺・副甲状腺疾患の組織診断		9		
10	良性乳腺疾患の外科治療		10		
11	乳癌の外科治療		11		
12	甲状腺・副甲状腺疾患の外科治療		12		
13			13		
14			14		
15			15		

講義担当者承認 (印)

学籍番号	
氏名	

平成30年度講義シラバス(2)

講義コード	※	専攻分野	外科学(乳腺・内分泌外科)	
講義題目	乳腺内分泌外科手術スキル実習		必修/選択	必修
担当教員	津川浩一郎	担当教員連絡先	内線 3222	
単位数	1単位(3ヶ月・7、8、9月)	履修年次	1年・2年	
テーマと目的	症例に基づいて基本的な乳腺・甲状腺・副甲状腺疾患の外科療法を理解する			
講義計画	種々の基本的な乳腺・甲状腺・副甲状腺症例を通して外科療法を理解し、管理方法を検討する。			
達成目標	1. 基本的な乳腺・甲状腺・副甲状腺疾患について、外科療法を論理的に説明できる 2. 基本的な乳腺・甲状腺・副甲状腺疾患の組織診断と外科手技を行うことができる			
教科書・参考書	別途指示			
準備学習(予習・復習・時間)	Up To Date(学内からオンラインにて検索可能)を参照 1時間			
成績評価法	出席と実習内での発表および受講態度による総合評価			
講義内容				
前期(回)	内容 (出席Ⓞ)	後期(回)	内容 (出席Ⓞ)	
1	乳腺疾患の穿刺細胞診	1		
2	乳腺疾患の針生検	2		
3	乳腺疾患のマンモトーム生検	3		
4	乳腺疾患の外科生検	4		
5	良性乳腺疾患の手術(1)	5		
6	良性乳腺疾患の手術(2)	6		
7	乳癌の手術-乳房温存術(1)	7		
8	乳癌の手術-乳房温存術(2)	8		
9	乳癌の手術-乳房切除術(1)	9		
10	乳癌の手術-乳房切除術(2)	10		
11	乳癌のリンパ節郭清	11		
12	甲状腺良性腫瘍の手術	12		
13		13		
14		14		
15		15		

講義担当者承認

Ⓞ

学籍番号	
氏名	

平成30年度講義シラバス(3)

講義コード	※	専攻分野	外科学(乳腺・内分泌外科)
講義題目	乳癌の診断・治療計画		必修/選択 選択
担当教員	津川浩一郎	担当教員連絡先	内線 3222
単位数	2単位(前期1、後期1)	履修年次	1年・2年
テーマと目的	乳癌の診断と治療方針の選択・決定までを修得する。		
講義計画	乳癌専門医による講義と実習。診断から治療方針の選択・決定までの流れを実際の症例を通して計画・実行する。		
達成目標	乳癌の診断から標準治療計画の立案。		
教科書・参考書	科学的根拠に基づく乳癌診断ガイドライン 1-5 金原出版		
準備学習(予習・復習・時間)	Up To Date(学内からオンラインにて検索可能)を参照 1時間		
成績評価法	出席と発表・討論		
講 義 内 容			
前期(回)	内 容 (出席◎)	後期(回)	内 容 (出席◎)
1	乳癌の画像診断 マンモグラフィ	1	乳癌術式の選択
2	乳癌の画像診断 超音波	2	薬物療法の選択
3	乳癌の画像診断 CT	3	乳癌内分泌療法の選択とレジメン 1
4	乳癌の画像診断 MRI	4	乳癌内分泌療法の選択とレジメン 2
5	乳癌の組織診断 針生検・マンモトーム	5	乳癌化学療法の選択とレジメン 1
6	乳癌の治療計画 1	6	乳癌化学療法の選択とレジメン 2
7	乳癌の治療計画 2	7	乳癌化学療法(分子標的学)の選択とレジメン
8	乳癌の治療計画 3	8	術前化学療法の適応とレジメン
9	乳癌のステージング 1	9	術前内分泌療法の適応とレジメン
10	乳癌のステージング 2	10	術前薬物療法の効果判定 1
11	乳癌のサブタイプ 1	11	術前薬物療法の効果判定 2
12	乳癌のサブタイプ 2	12	術後薬物療法の適応と選択 1
13	乳癌の転移診断 1	13	術後薬物療法の適応と選択 2
14	乳癌の転移診断 2	14	転移乳癌の治療選択 1
15	乳癌の転移診断 3	15	転移乳癌の治療選択 2

講義担当者承認 (印)